



さとのかぜ

NO. 159

千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

8月号 2008年8月1日発行

編集・発行 千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

〒298-0111 千葉県いすみ市万木 2050 番地

TEL 0470-86-5251 FAX 0470-86-5252

URL <http://www.isumi-sato.com/>

七夕馬を覚えていますか？



ほく達はマコモやワラ、チガヤなどで作られているのだ。ところによって、ほくたちはカヤカヤ馬とも呼ばれているんだ。

「七夕馬」は馬と牛が一對となっています。馬の腹部に入っているのが牛です。写真の七夕馬の製作者は、いすみ市深谷在住の池田和彌さんです。

猛暑の中、月遅れの七夕行事のニュースが涼を誘います。七夕といえば、子どもの頃に「七夕馬^{たなぼたうま}」で遊んだことをご記憶の方がいらっしゃるのでは…。七夕の朝、こども達は父親や祖父らが作った七夕馬を引いて田んぼや水辺に行き、ミチシバやマコモを刈って馬の背に積んで持ち帰り、その草を敷いた上に馬牛を置き、赤飯や煮物を供えました。この行事は、馬牛の日ごろの労苦をねぎらうためと、祖先の霊を迎えるための盆に先立つ行事である等など、諸説があるようです。かつては七夕が近づくと、六歳市でも七夕馬が売られたとか。最近では行事はもちろん七夕馬を見る機会も少なくなりました。懐かしい七夕馬はセンターに展示されています。ぜひ見に来てください。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
7月のセンター行事
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- 『ハスの観賞会』13日(日)
- 『小川の生き物ウォッチング』26日(土)

《ハスの観賞会》



二年つづきの不作のため、満足のゆく観賞会ができなかったハスの花ですが、今年はまあまあの咲き具合でした。参加者は大人22名、子供1名。大観賞会当日は、朝霧ならぬ深い霧が立ち込める中、開催時刻の7時前にはすでに数名がハス田に入り、開花した花の撮影や観賞にいそしんでいました。

折からの濃い霧が作り出す幻想的な雰囲気の中、参加者は、大賀蓮や酔妃蓮、アメリカキバナバス、姫蓮、ミセス・スローカム、瑞光蓮、蜀光蓮などなど、開花中の美しいハスの花を存分に楽しみました。

ちなみにセンターの花バスは35品種あり、9月頃まで次々と咲きつづけます。観賞会は終わりましたが、指導員の方に声をかけ、開花中の花の品名や特徴、さらには「ハス」の名前の由来、これから開花する種類等々・・・、楽しく有意義なお話をぜひうかがってみてください。

《小川の生き物ウォッチング》

参加者は自転車で行ってきた地元国吉中学校の仲良し4人をはじめ、千葉市内、大多喜町、さ

センタートピックス 8月

《いすみの自然満喫プラン》



7月20日から8月31日まで、いすみ市では“サマーフェスタ in いすみ”が各所で開催されます。センターでは、昨年好評だった「草木染め体験」、「ザリガニ釣り体験」=写真をはじめ、「サイクリングとバーベキュー体験」を今年も行います。

ちなみに「草木染め体験」以外は、フェスタ後も体験できます。昔とった杵柄で、お父さんの威厳を挽回?! できるザリガニ釣り。センター周辺のスポット地区を親子でめぐり、いすみの自然と文化に触れるサイクリング。緑いっぱいのセンターでのバーベキュー等々。今年の夏は行楽地のテーマパークとは一味違う、「いすみの自然満喫プラン」を計画されてはいかがですか。センターでのんびり、ゆったり“エコな夏休み”をお楽しみください。

らには埼玉県からの参加者も加えた計16名。内訳は大人8名、子供8名でした。予定の8時30分には全員が集合。資料と概要の説明をうけた後、車9台に分乗して目的地の新田川へ向かいました。新田川は新田地区の水田に水を供給するための川止めが上流にあり、ふだんは川に入るとは禁止されています。当日は東海地区水利組合に許可を得、役員の方に見守られながら川に入りました。

新田川で、今回捕獲観察できた主な生き物は、エビ・カニの仲間はモズクガニ、テナガエビ、ヌマエビ、スジエビ、ハゼ科のヨシノボリ、コイ科のタイリクバラタナゴ、ウグイ、タモロコ、貝類はカワニナ、マルタニシ、イシマキガイ等々。全員で行った追い網漁では、個々に網を使っていた時とは比べ物にならない多くの種類の魚が捕獲でき、「思ったよりたくさんの種類の生き物がいる」と驚きの声があがりました。

ちなみにこの新田川が注ぐ主流の夷隅川には、70数種の魚類が棲息しているとか。国のレッドデータブックに指定されている貴重な魚類はもちろんのこと、天然記念物のミヤコタナゴが自然繁殖する小川などもあるそうです。ここいすみ市が、いかに豊かな自然環境を残しているかがわかります。



大人も子どもも網を手に、獲物探しに夢中



モズクガニは、拳大のものが数匹とれました



美しいタイリクバラタナゴがとれました

ところで、今回の行事が行われた二日後に、六甲山系から流れ出す都賀川の突然の増水により、川遊びをしていた子どもを含む5名が命を落とすという悲しい事故が起こりました。いすみ地区を流れる川のほとんどは、田んぼに水を供給するための川止めが上流にあります。川遊びの際は、水利組合の了解を得、さらに十分注意してください。(大東 悠子)



今月の

見い~つけた!

No.4

最近、湿性生態園にある草(マコモなど)の先が、くるっと丸まっているものが多くあります。中をそっと開けてみると、1cmぐらいのクモがいます(びっくり!)。葉っぱを袋状の巣にするフクログモの仲間です。小さいですが毒グモですので、噛まれないように注意して下さい。ちなみに、この仲間のカバキコマチグモは、この中で産卵し、母親がなんと自分の体を子供に食べさせてしまうんです!!

まさに“体を張った子育て”、ですね…(涙)。

(堺 勇人)

ヤマトコマチグモ
(フクログモ科)

和泉-日在浦だより ウミガメの当り年(2008年8月1日)

[ウミガメの当り年]

今年は全国的にウミガメの当り年で、鹿児島・宮崎等の主要ウミガメ繁殖地で平年の2-3倍規模のアカウミガメの上陸・産卵が報じられています。いすみ市でも8月1日現在、アカウミガメは上陸足跡確認15回、うち産卵は9回となり、すでに昨年度(上陸8回、産卵6回)を上回っています。8月中旬には子ガメの旅立ちが始まると思われます。



市の担当課職員と共に
静かに産卵の様子を観察中(7/13)

[産卵から帰海までを観察]

筆者は7月13日早暁、濃霧の中、和泉浦で産卵中のアカウミガメを発見し、2時間余つぶさに甲の上の生物や産卵中の特異な行動を観察することができました。筆者からの通報により、いすみ市農林水産課実方課長以下5名(ウミガメ採捕許可取得者)が早速駆けつけ、産卵から帰海に至る観察を初めてできたと感謝されました。今後



いすみ市 産卵中のアカウミガメを発見(7/13)*
のウミガメ繁殖保護活動に役立つものと期待
しています。(*写真2枚撮影:森谷香取)

[昆虫観察から]

7月21日には、枕木を使った住宅の塀で、アブラゼミが脱皮する様子を観察できました。草地でアゲハチョウ、松林や照葉樹林の中でオハグロトンボ、クワガタ、カミキリムシ等を見かけますが、カブトムシを見る機会が減ったのは残念なことです。最近、朝晩ヒグラシやコオロギの鳴声を聞くようになりました。



脱皮中の油蝉(日在_7/21)*

[森谷 淵(もりや ふかし)]

◎今、いすみでは???

「最近雨が少なく、雨が降ってくれないと、畑はがらがらになってしまうよ。」という声を聞きます。水田には、溜池(堰)から水を引くから心配はいらないが、畑にはわざわざ水をかけなければ、作物が枯れてしまう恐れもあるからでしょう。

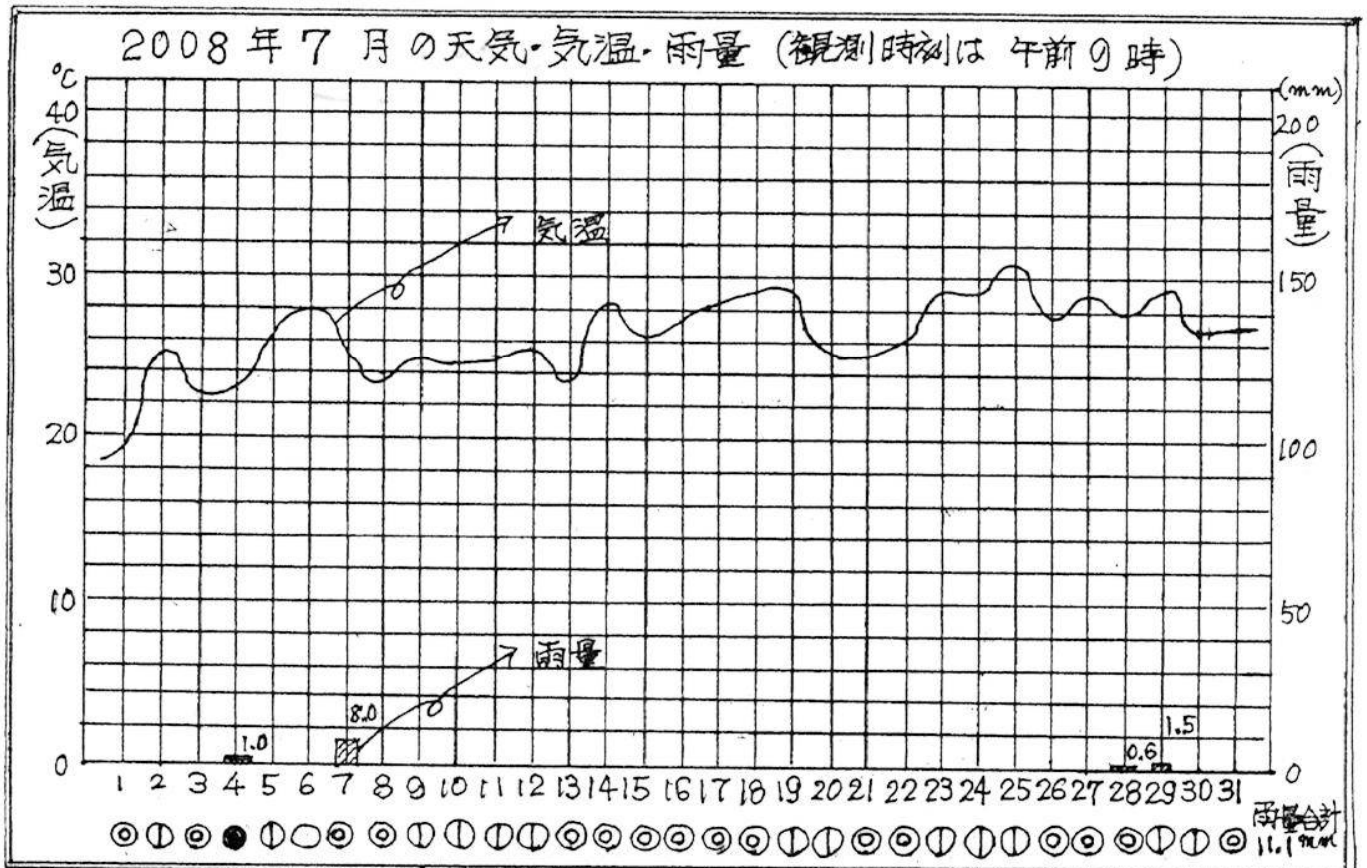
先日、テレビの報道で、「7月の雨量は、平年の45%位しか降らなかった」と聞いたので、当センターで観測した雨量を、4年前から調べてみました。

2005年7月・・・144.5mm、2006年7月・・・175.5mm、2007年7月・・・216.8mm、ところが、今年の7月の総雨量は、わずかに『11.1ミリ』でした。これでは『雨の少なかった7月』と言えます。

畑のキュウリやトマトは、この乾燥期に、地中のどこから、あの水分を集めてくるのだろうか……。不思議ですね。

センター周辺の水田には、すでにイネの穂が出て、今充実期を迎えています。早い家では、例年8月15日～20日の間にイネ刈りを始めています。今年は、一時、イネの生長が遅れるのではないかな?と心配されましたが、7月の暑さ続きで生長が順調になり、例年通りの生長になっているようです。

ムクゲ(アオイ科)の色々な花、ピンクと白のネムノキ(マメ科)の花、大きな花のフヨウ(アオイ科)など、また、アキカラマツ(キンポウゲ科)の白い花など、今盛りです。 (芝崎昌彦)



[☉: 快晴(1日), ☉: 晴(13日), ☉: 曇り(16日), ●: 雨(1日)]

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
8月の行事案内
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

☆『夏の星座を見てみよう』定員20名
日時 2日(土)

19:00～21:00

雨天延期 8/3

場所 ネイチャーセンター

☆『草木染め体験』定員20名

日時 3日(日)9:30～15:00

雨天延期 8/17

場所 ネイチャーセンター

☆『トンボの沼のトンボたち』定員20名

日時 23日(土)8:30～11:30

雨天延期 8/17

場所 スポット6(トンボの沼)

集合 ネイチャーセンター 8:30

<9月の行事予定>

☆『米づくり・稲刈りをしよう』定員40名

日時 7日(日)

9:00～14:00

雨天中止

場所 ネイチャーセンター

☆『竹かご教室』全5回のうちの①

定員20名 全5回参加できる人。途中参加不可

日時 28日(日)9:30～16:00

場所 ネイチャーセンター

いすみ楊枝

—千葉県伝統工芸品—

日時 8月17日(日) 9:30～16:00

場所 ネイチャーセンター

講師 高木 守人氏

参加料 無料

内容 楊枝・花入れ・茶杓作り

センターでは、千葉県伝統的工芸に指定されている「いすみ楊枝」を、県内外に広く紹介するために毎月1回、高木守人氏に実演をしていただいております。

次回は、9月21日(日)の予定です。

10月の行事予定

『竹かご教室』全5回中の②定員20名

4日(土)9:30～16:00ネイチャーセンター

『竹かご教室』全5回中の③定員20名

5日(日)9:30～16:00ネイチャーセンター

『竹かご教室』全5回中の④定員20名

11日(土)9:30～16:00ネイチャーセンター

『竹かご教室』全5回中の⑤定員20名

12日(日)9:30～16:00ネイチャーセンター

『芋掘りをしよう』定員40名

4日(土)9:30～16:00ネイチャーセンター

*8月1日(金)より申し込み受け付け開始

行事への参加申し込み、お問い合わせは、電話(0470-86-5251)、ファックス(0470-86-5252)、または、直接センター事務室にお申し出下さい。定員のあるものについては、定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承下さい。

* eメール可(メールアドレス: info@isumi-sato.com (@は全角です))

* 行事申し込み後、都合によりキャンセルする場合は必ず早めにセンターまでご連絡下さい。

*「さとのかぜ」の定期購読を希望される方は、郵便代として、80円切手12枚、または960円にて受付ます。

◆ ◆ ◆ **利用案内** ◆ ◆ ◆

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、12月29日～翌年1月3日

開館時間: 9:00～16:30、入館料: 無料

なお、団体で案内や解説などを希望される場合は、2週間前までにお申し込み下さい。